

T. SY491

発送日付 : 2002. 10. 31

提出期限 : 2002. 12. 31

特 許 庁  
意見提出通知書

出願人 氏名 キヤノン株式会社  
住所 日本国東京都大田区下丸子3丁目30番2号

代理人 氏名 張秀吉 外1人  
住所 ソウル市鍾路区内資洞219ハンヌリビル  
(金・張特許法律事務所)

出願番号 10-2001-0004524

発明の名称 IMAGE PROCESSING APPARATUS, IMAGE PROCESSING METHOD AND  
STORAGE MEDIUM

本出願に対する審査結果、以下のような拒絶理由があり特許法第63条の規定によりこれを通知するので、意見があるか補正を行う必要がある場合は上記期限までに意見書又は／及び補正書を提出されたい(上記期限について毎回1ヶ月単位で延長を申請することができ、この申請について別途の期間延長承認通知はしない)。

[理由]

1. 本出願の特許請求の範囲第1項～第46項に記載された発明は、その出願以前にこの発明が属する技術分野における通常の知識を有する者が以下に指摘したことにより容易に発明できたものであるため、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。
2. 本出願は特許請求の範囲の記載が以下に指摘している通り不備なものと認められ、特許法第42条第4項の規定による要件を満たしていないので、特許を受けることができない。

[記]

1. 本願発明の請求範囲第1項～第27項の出力要求された画像が判定対象画像を示す情報を含むか否かを事前設定された領域に対して判定するための判定手段(段階)、事前設定された領域を決定するための決定手段(段階)を含むことを特徴とする画像処理装置、方法、格納媒体、第28項～第46項の表示データが画像データであるか否かを判定するための判定手段(段階)、画像データが判定対象画像を示す情報を含むか否かを判定するための判定手段(段階)を含むことを特徴とする画像処理装置、方法、格納媒体は、日本特開平7-143335(’95.6.2)の記憶手段、パターン判別手段、領域検出手

段、制御手段などを含んで原稿の特定領域を認識して複写禁止原稿であるか否かを判別するものであって、低い解像度で全体領域をスキャンして特定領域の座標を求め、高い解像度で特定領域を精密に照射する複写禁止原稿の複写禁止装置及び方法から容易に発明できたものである。(特許法第29条第2項)

2. 本願発明の請求範囲第23項は、第13項において‘バンドの幅’を限定しているが、第13項に‘バンドの幅’が記載されておらず、第31項、第33項は、第28項において‘判定手段’を限定しているが、第28項には判定手段が2つ記載されているので、如何なる判定手段を限定するのかが不明確であり、第36項は、第28項において‘判定’を限定しているが、‘判定’が第28項に記載されている2つの判定のうち如何なる判定を意味するのかが不明確であり、第38項は‘決定手段’を限定しているが、その前に‘決定手段’が記載されておらず、第41項は‘バンドの幅’を限定しているが、その前に‘バンドの幅’が記載されていないので、その発明が明確に記載されていると見られない。(特許法第42条第4項)

[添付]

添付1 日本特開平7-143335号 1部

2002年 10月 31日

特許庁 審査4局  
映像機器 審査担当官室 審査官 ジョン ソン ジュン